

多様な情報機器活用による総合的な ビジネスリテラシーの養成

大阪国際大学 ビジネス学部
現代社会学部

登壇者: 中野 健秀
中山 貴嗣

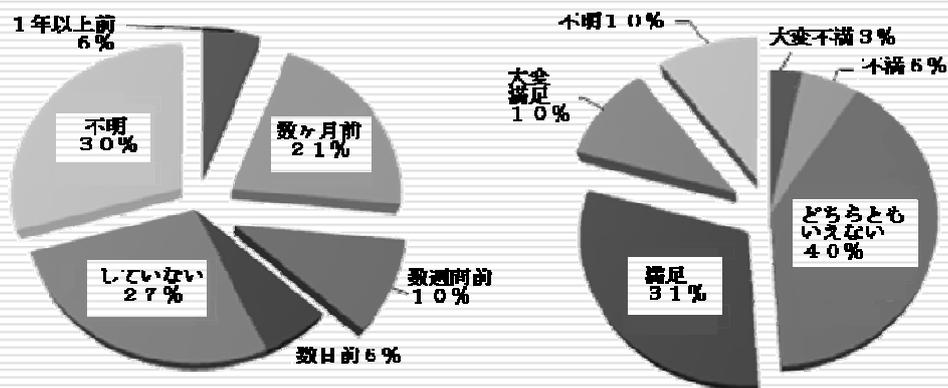


目的

- (1) 就職活動を行う多くの学生がSPI試験や筆記試験で躓き、満足のない就職活動を行えていない状況を打開するため、低学年から就職活動に必要なビジネスリテラシーを養成することを目的とする。
 - (2) セミナー教育やキャリアセンター主催の各種講座に加えて、新たに携帯型情報機器等を用いてSPIや時事問題に取り組むことで、自学自習の定着と個々の成績の向上を目指す。
-

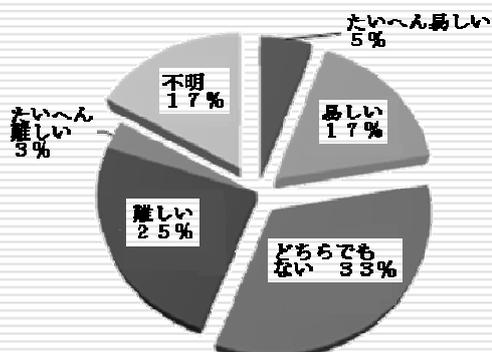
本学における卒業時の就職活動満足度調査（1）

▼ 筆記試験(一般常識)対策の開始時期 ▼ 卒業生の就職活動の満足度

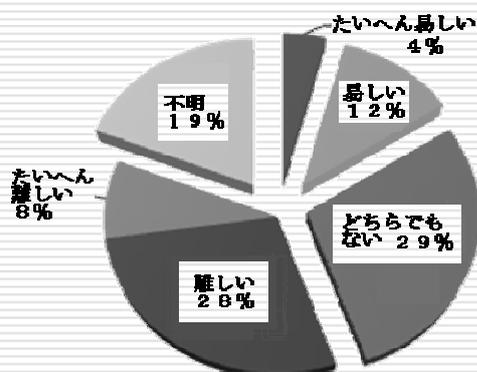


本学における卒業時の就職活動満足度調査（2）

▼ 一般常識問題に対する感想

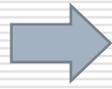


▼ SPI試験に対する感想



プロジェクト名

多様な情報機器活用による総合的な
ビジネスリテラシー
の養成



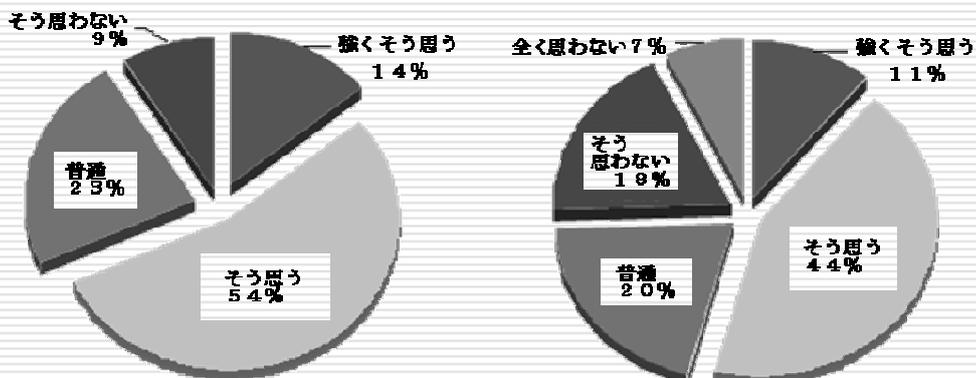
必修
就活DSプログラム



5

携帯型情報機器を用いて学習した学生の満足度調査(2008年)

▼ ソフトの使用で実力が上がったか? ▼ テキストよりも学習効果はあったか?

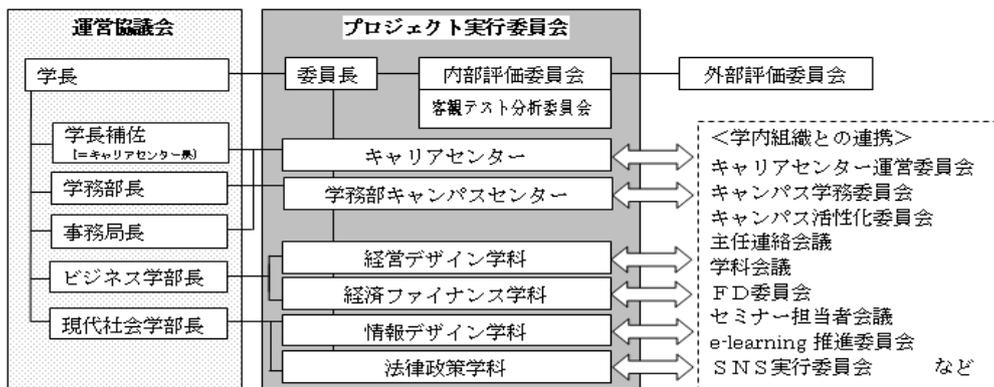


ニンテンドーDS



重さ	218g
電池持続時間	10～15時間
フル充電時間	約3時間
ディスプレイ	3インチ(対角)透過型TFTカラー液晶
使用言語	日本語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語

本取組の実施体制



本取組のフローチャート



『ものやお金のしくみ』 2009年後期(2年次生)



- 日本経済新聞社監修
- 知力問題300題 感覚問題300題
- 全体の21%がコンプリート
- 全体の19%がほぼ未使用

『モノやお金のしくみDS』

- 学習期間が配布初期(2~3週)に偏り
- コンプリート達成者への更なる取り組み

ニュース時事能力検定 2009年後期(3年次生)



- 2010年2月10日に準会場として
本校枚方キャンパスで実施
- 72名が受験
- 学生には事前にニュース時事能力検定の
テキストを配布
- 3級の受験(留学生は4級受験も可とする)

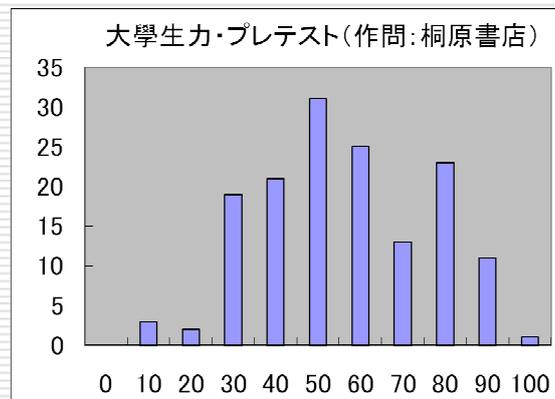
-
- 試験直前の対策授業の開設
 - 試験日の設定

11

2年次前期 『大學生力』 2010年前期(2年次生)



『大學生力』



12

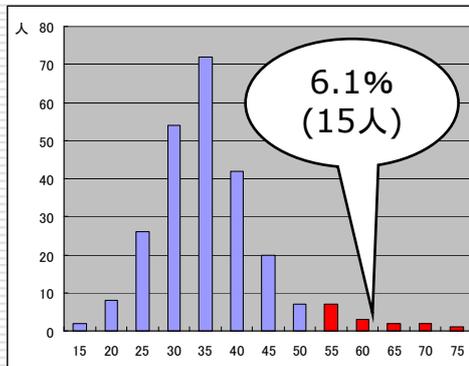
『SPI』

2010年前期(3年次生)



『SPI』

●2010年7月にプレテストとして
SPI全国模試を受験(246名)



13

活性化に向けて

- メーリングリスト
- SNS
- ゼミ別の取り組み
- 配布および回収

今後の取り組み

- プロジェクト活性化に向けて

 - 実施期間の短縮(150日→100日)

 - SNSとのさらなる連携

- モチベーションの向上に向けて

 - 成績優秀者の表彰

 - DSソフト完了者に対する、アドバンス的なソフトの貸借

- プロジェクト内成績優秀者の就職状況の追い調査

- 使用ソフトの選択
